ROUTE 06

AI-native Factory

複雑な業務とシステムを、AI駆動で変える。

中部オープンイノベーション・フォーラム

2026.10.01　代表取締役　遠藤 崇史



Company Profile

社名	株式会社ROUTE06
設立	2020年
代表	遠藤 崇史
資本金	1億円
所在地	東京都千代田区丸の内一丁目6-5 丸の内北口ビルディング 9F
事業	AI駆動開発プラットフォームの開発・運営 AI導入・活用支援 システム開発・コンサルティング
顧問	アンダーソン・毛利・友常法律事務所
出資元	ALL STAR SAAS FUND、ジャフコ グループ、 デライト・ベンチャーズ、ジェネシア・ベンチャーズ、 みずほキャピタル、SMBCベンチャーキャピタル、 三菱UFJキャピタル

沿革

これまでの歩み

設立	2020.01	株式会社ROUTE06創業
財務	2020.05	デライト・ベンチャーズ、ジェネシアベンチャーズより シードラウンドで2億円を調達
事例	2021.09	そごう・西武とOMOストア「CHOOSEBASE SHIBUYA」を開発
事例	2021.10	三菱マテリアルとE-Scrap取引基盤「MEX」を開発
財務	2022.06	既存株主を含む7社よりシリーズAで15億円を調達
事例	2023.03	三菱商事と素材の見積・受発注「PaSS-Portal」の開発で提携
事例	2024	三菱商事と塩ビ産業の受発注「step X.」を開発
製品	2025	AI要件定義・上流工程支援プラットフォーム「Acsim」を展開
提携	2025.12	伊藤忠テクノソリューションズ（CTC）とパートナーシップ締結
主催	2026.06	AI要件定義サミット2026を主催（約1,400名来場）
基盤	現在	高度AI駆動開発プラットフォーム「Plain」：6つの開発基盤

Management

創業取締役



代表取締役

遠藤 崇史　Takafumi Endo

東北大学大学院情報科学研究科を卒業後、日本政策投資銀行、ドリームインキュベータを経て、スマービーを創業、代表取締役CEOに就任。アパレル大手企業への同社のM&Aを経て、ストライプデパートメント取締役CPO兼CMOに就任。デライトベンチャーズにEIRとして参画後、ROUTE06を創業。



取締役

松本 均　Hitoshi Matsumoto

ベイカレントコンサルティングを経て、楽天およびヤフーにて、ECシステム／DMP／全サービスのログ統一などデータプラットフォームを中心とした開発およびPdMを担当。その後、ストライプデパートメントの執行役員CTO、Welbyの執行役員／開発部長を経て、ROUTE06を共同創業。



取締役CTO

重岡 正　Tadashi Shigeoka

熊本大学大学院 情報電気電子工学専攻 修士課程を卒業。ウェブインパクトでグルメ、不動産、ECなどの受託開発に従事。その後、Tokyo Otaku Mode Inc.の創業前期から参画、ソフトウェアエンジニアとして越境ECサービス開発などに従事。Engineering Managerを経て、ROUTE06を共同創業。

Track Record

大企業の事業を支える、導入・開発実績

三菱商事



step X.

塩ビ産業の受発注プラットフォーム
サプライチェーン全体の取引をデジタル化

SEIBU SOGO



CHOOSEBASE SHIBUYA

OMOストアの開発
店舗とオンラインをつなぐ購買体験

三菱マテリアル



MEX

E-Scrap取引プラットフォーム
資源リサイクルの取引手続きをオンライン化

White healthcare



あなたの薬箱

健康保険組合員向けの医薬品販売サイト
セルフメディケーション事業の立ち上げを支援

三菱商事



PaSS-Portal

素材の見積・受発注プラットフォーム
事業構想から設計・開発まで支援

出典：ROUTE06公式サイトの公開事例・紹介画像（発表当時）

Event

AI要件定義サミット2026を主催

開催日	来場者	登壇組織
2026.06.11	約 1,400 名	官民 20 社超



官民のリーダーと、AIによる要件定義・上流工程の実践を共有

出典：AI要件定義サミット公式サイト・ROUTE06開催レポート

Mission

ミッション

次代を、実装する。

企業の暗黙知を、AI-readyな構造知へ。

工数の壁で見送っていた新事業。

複雑さのために変えられなかったシステム。

専門家にしか扱えなかった仕事。

解決が難しかった事業課題を、新しいビジネス機会へ。

Our Strengths

企業での実装経験と、自社製品で磨く開発力

	01 / Enterprise Engineering	02 / Product Engineering	03 / Platform Engineering
	エンタープライズ品質	**自社開発と実用改善**	**AIネイティブな 形式知資産**
提供価値	**複雑な業務を、 運用できるソフトウェアに**	**自らつくり、使い、 実務で製品を磨く**	**企業の知識を、 人とAIが使える資産に**
実現する仕組み	 業務とセキュリティの要件に対応	 課題を捉え、改善を製品へ反映	 判断の根拠とともに、次の開発へ
実績・製品	**三菱商事・三菱マテリアル** PaSS-Portal / step X. / MEX 受発注・機密情報の管理・基幹連携	**Acsim / Giselle / Liam** **#2** Giselle / Product Hunt 日次順位 · 2025.12 **5,000+** Liam / GitHub Stars 2026.09確認	**Acsim** 要件定義・上流工程設計 **Plain** DevOps基盤・ ソフトウェアライブラリ

AI-native Factory　現場で得た知識を、製品と開発基盤に蓄積。

AI-native Factory

複雑・専門的な企業システムを、AI駆動で開発する

開発対象のコード規模　**数十万行〜数百万行**

01 / INPUT

業務と既存資産

事業・業務
担当者・例外・判断

システム
コード・DB・API

運用条件
権限・品質・保守体制

実装から学ぶ
共通課題・再現条件

02 / ENGINEERING　　製品 × 実装支援

Acsim
要件定義・上流工程設計
業務知識を、要件・設計へ
業務フロー・要求・画面・設計

plain
DevOps基盤・ソフトウェアライブラリ
定義を、実装・検証へ
SDK・コンパイラ・実行・検証

Professional Services
構想から、導入・運用まで
業務整理・設計・開発・移行・定着

FDE　Forward Deployed Engineering
顧客の現場で、試作・実装・検証
業務の例外・操作・結果を開発へ反映

共有する開発資産　仕様 ／ コード ／ テスト ／ 判断理由

実践知・共通課題を集約　／　製品・開発基盤へ還元

CONTINUOUS IMPROVEMENT
Platform Engineering
知見を形式知化し、
再利用・実行・検証できる開発基盤へ

ENABLEMENT　**AI駆動開発の実践支援・ノウハウ提供**　／　経営層向け · Claude Code / Codexの実践活用

03 / OUTCOME

実装と継続開発力

業務ソフトウェア
受発注・基幹・新事業

AIエージェント
業務・専門ツール連携

継続開発の資産
仕様・コード・テスト

次の開発に活かす
製品・基盤を継続的に改善

Acsim

業務の暗黙知を、合意できる要件・設計へ

01 / 業務整理

資料から仕様を読み解く

Excel　PowerPoint　Word

数百〜数千ファイルの仕様を解析

02 / 要求・要件定義

業務と要求をつなぐ

As-Is / To-Be → 業務フロー 要求

AIレビューで論点・不整合を確認

03 / プロトタイプ・設計

画面と設計で合意する

画面・機能 設計書・RFP

プロトタイプで認識をすり合わせ

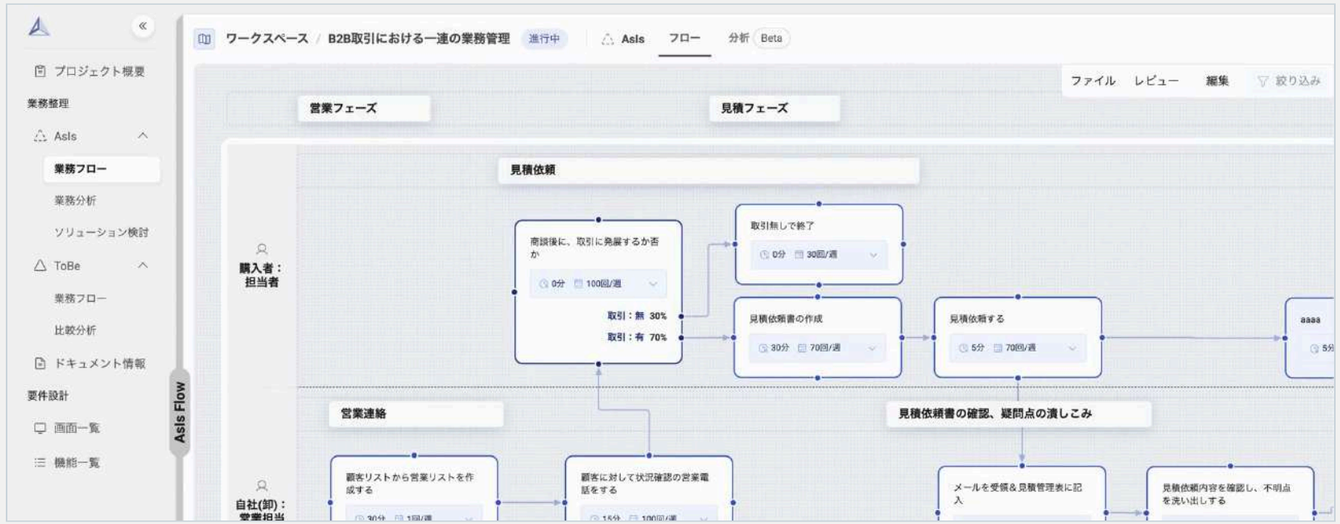
04 / 開発・テスト連携

開発・テストへつなぐ

構造化した 要件・設計 → 開発タスク / テスト設計

ソースコードとも連携

業務フローの公式サンプル画面



公開導入事例

製造業 / 基幹システム刷新

ニューギンホールディングス

属人化した現行業務を整理し、外部コンサルと共有。
製造部門に加え、営業部門でも活用。

DX支援 / 要件定義の標準化

PLANET

議事録から現行・理想の業務を整理し、合意形成を支援。

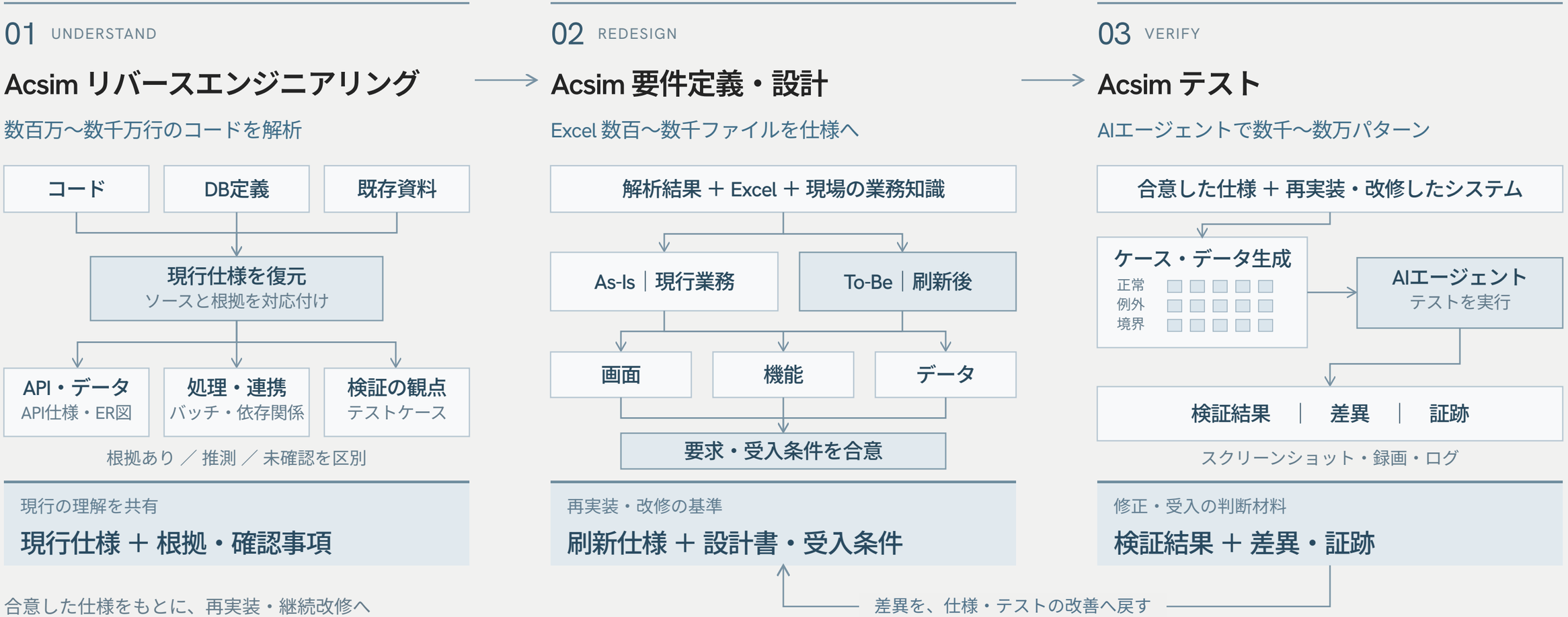
業務フロー図の作成工数 **6〜7割削減** 担当者の体感値

自律型AIエージェント × 人の判断　資料・コードをつなぎ、人が確認・判断できる仕様に

出典：Acsim公式サイト

Modernization with Acsim

既存システムの仕様を復元し、再設計と検証へ



機密コードの解析にも対応　解析サービス：ローカル解析・外部クラウドへの非保存　オフライン実行は個別に相談

出典：Acsim公式サイト（機能説明）／図は活用構成例

Plain

AIコーディングエージェントに最適化したDevOps基盤・ソフトウェアライブラリ

開発するエージェント

Claude Code
Codex

定義を読み書き
実装・テストを実行

差分・検証結果から
次の変更へ

AIが扱う宣言的な定義

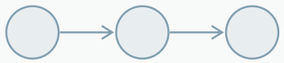
UI・状態・データの責務を分ける

Stella
宣言的UI定義
画面・操作・表示状態



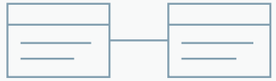
UI仕様をコンパイル
Storybook・操作できる試作

Luxa
宣言的状態管理
state / event / guard



状態計算とeffectを分離
実行制御・Trace・replay

Mora
宣言的DB定義
SQL DDL・依存関係



依存解析・差分を確認
型・validator・API契約

Tera
宣言的インフラ定義

HCL → plan → 承認・適用 → 検証
変更計画と適用結果を対応付ける

Runa
開発環境・CI/CD

環境の再現 ／ ビルド ／ テスト
AIが実装・検証を繰り返せる開発環境

新しい実装

移行・新旧比較

既存システム

同じ条件で実行・観測

Spira
振る舞いを比較

出力 | 状態 | 外部処理
差異・証跡・未確認範囲

移行・受入の判断へ

AIコーディングエージェントの能力を、最大限に引き出す

必要な基盤を選び、対象システムに合わせて接続

各基盤の役割と接続を示した構成イメージ

Agent Engineering with Plain

部材の納入遅延に対応し、納期を守る生産計画へ



Plain活用の仮想ケース / 生産管理

AIの提案を、承認・実行につなぐ

生産順序・部材引当を見直し、制約と納期を検証。

外部の操作インターフェース

Codex / Claude Code / 業務画面

共通APIで状態照会・変更依頼

承認・権限の判定を共通化

01 / 業務データ

業務データ

型と入力条件を揃える

- **受注** 納期・数量
- **部材** 在庫・入荷予定
- **設備** 能力・稼働条件

02 / エージェント

計画・検証エージェント

自律型エージェントを内包

Codex App Server

Thread / Turnで対話・実行を管理

↓ ツール呼び出し　↑ 結果を評価・再計画

- **変更案を生成** 生産順序・部材引当
- **制約・納期を検証** 設備負荷・部材不足・納期

03 / 人の判断

生産管理責任者

変更差分・納期への影響を確認

変更案 → **変更を承認？** → 承認

承認対象と権限を照合

04 / 業務システム

生産管理システム

承認した変更だけを反映

業務APIを実行

実行結果・エラーを取得

反映結果を照合

重複実行を防止・失敗時は停止

差し戻し：条件を見直して再計画

Plain Luxa

宣言的状態管理

計画中 → 検証中 → 承認待ち → 実行中 → 完了

guard 承認・権限の判定 ／ effect エージェント・業務APIの実行 ／ Trace 実行履歴・中断／再開の追跡

plain DevOps基盤

- **Runa** 開発環境・CI/CD
- **Mora** 宣言的DB定義
- **Tera** 宣言的インフラ定義

説明用の仮想ケース・提案構成。写真は生成イメージ。業務ロジック・API接続・権限は対象システムに合わせて設計。

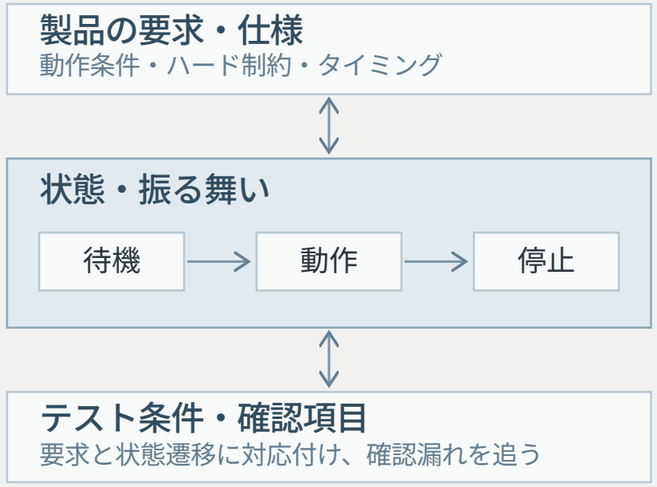
Solution Proposals

組み込み・CAD・既存システムへの適用提案

01 / 組み込みソフトウェア

組み込みソフトウェア版 Acsim

共同検証・開発のご提案



期待効果

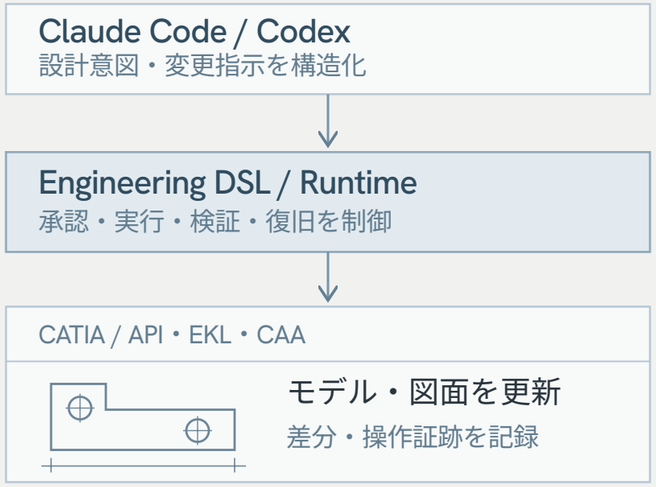
外注費・育成コストの削減

仕様と検証ノウハウを共有し、
内製化と技術継承を進める。

02 / CAD・設計業務

CATIA Engineering Agent

共同検証・開発のご提案



期待効果

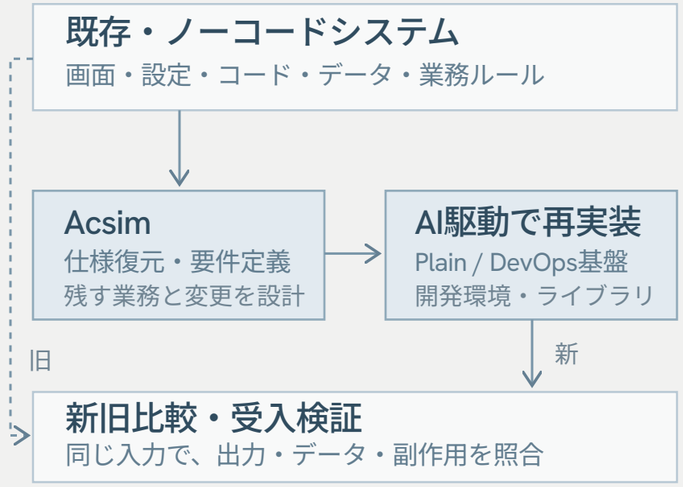
設計工数の削減・設計の高度化

数十〜数百時間を要する作業を効率化し、
設計案の比較・検証を充実。

03 / 既存業務システム

既存・ノーコード システムの再構築

個別システムへの適用支援



期待効果

保守運用費の削減・改修の迅速化

仕様・コード・テストを整え、
調査・改修・検証の負担を軽減。

図は提案構成のイメージ。対象システムに合わせて設計します。

構想から、実装へ。

まずは、変えたい業務・システムを一つ。

業務整理 ／ 既存システムの刷新 ／ 専門業務のAI化

ROUTE 06 route06.com/jp